

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net> E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



INDEX

P1: 巻頭言
P2: ヒューマンイラスト/運動他
p3: 会費,2023 方針他(案)
p4-5:「卒業修業のつどい」
p6-7: 大学生実習、初等部
p8: エッセー、カレンダー、後記
付/学生レポート、加藤さん追悼

<3/18:「卒業・修業のつどい」>

2022 年度「つどい」は参加 50 名のもとに区切りを祝いました。
～今回卒業は中学 3 年生、小学 6 年生が各 5 名です～
<写真> 前日レクの際に撮ったもの。右上は当日のクス球。

子ども達が主人公の「卒業修業のつどい」を実感！

認定NPO法人・社員 池内 省子

3月18日、久しぶりに自由が丘に出向きました。当日は2022年度を区切る「つどい」です。在籍生徒が30名規模となり、どのような運営となるのかと思いつつ、同世代の元教師メンバーたちと一緒に出席しながら、改めて感じたことを述べます。

- ・この月寒スクールは本当に『子どもが中心』を貫いている。多くの学校では言葉では子どもが主人公というが、その実態が見えない。この日の生き生きとした様子に立会って良かった。
- ・作品紹介でも、傘たて、クス球、映像などを1ヶ月位でよくぞ仕上げた。やる気が伝わる。
- ・スタッフも一緒に成長している感じだ。当日の役割や動きなど子ども達と共に進化している。
- ・親の言葉も良かった。地元学校には行けず苦しんでいたと思うと、聞きながら感激した。

私が小中学校に勤務していた頃は、管理や競争が激化していた時代。退職して道民教集會に顔を出していた時に故鈴木秀一さん達の運動を知り、誘われて「自由が丘夕張プレススクール」の授業を受持った。毎週通う中で、“子どもが主体の学校”ということを経験する理念を理解して以来、この会員となり今に至る。関係者も高齢となってきたが、歳をとって弱ってばかりではいけない。

お互いに励まし合いながら、こういう機会にエネルギーを貰っている。(余談だが吉野さんは若いと思う。見かけではなく通信フロンティアの文章でそれを感じている) 通算して35年の取り組みや、新たに開校する「まおい学びのさと小学校」も含めて、人間がお互いに尊重しあう教育・学校の可能性を期待しています。(注:筆者は元養護教諭、最近まで子どもセンターで相談員をしていました。今回、眼の病もありインタビュー取材)